

# 九州朝陽会報

平成22年3月1日発行 第十一号

## 連載「新宿」の戻り出

第三回「ああ 特別考査!!」下

朝陽同窓会顧問・九州朝陽会名誉会員

昭和38〜62 国語科教師

佐藤 喜一（昭24年卒 1回）

【前号から続く】

この伝統ある「特考」も、昭和44年11月5日、新宿高校全共闘を名乗るメンバーたちが、校長室を占拠して、六項目要求なるものを校長に提出。その中の一つ「特考廃止」を学校側が受け入れたために、なくなった。この年度当初から、すでに制帽の着用自由化が始まっていた。

着帽の自由化、そしていわゆる学園紛争。その中心的人物が、安倍内閣を支えた官房長官、あの塩崎恭久君だった。



昭和41年4月、私は二年生だった塩崎君の担任になった。十分打ち解けぬ間に、彼はアメリカに留学してしまった。帰国後は次の学年に編入。生徒会長にもなり、アメリカ帰

りの自由さを身につけて、旧制度の改革に取り組んだ。

彼を取り巻く有力メンバーに、「世界のサカモト」こと坂本龍一君、「津軽海峡・冬景色」をヒットさせた馬場憲治君がいた。



当時を回顧して塩崎君は言う。

「自由でありたいという気持ちを抑えることはできなかった」（日本経済新聞（08・4・14夕刊）と。

その生徒たちの気持ちひしひしと感じられたから、私たちも「廃止」に踏み切ったのだった。

あれから、四十年——。「廃止」は受験産業を活性化させた。親たちの経済的負担も増えたであろう。そして、何よりも残念なのは、手づくりの進学指導が消えてしまったこと。

塩崎君には04年12月26日に、実に久しぶりに逢った。第二代母校舎に別れを告げる日だった。「先生!!」と言われてふりむくと、そこには金バッジの先生のコワモテではなく、あのワルガキの笑顔があった。よかった。その後、年に一度は会っている。

彼の選挙区は伊予松山だが、その地

ゆかりの正岡子規にこんな句がある。

松山や 秋より高き 天守閣

塩崎君は野党の人となった。されどこの機会にこそ日本の将来をしっかりと見据え、より高きにつけるよう努めてほしいと、私は願っている。

09・9・10

## 新年会の報告

年明け16日、新年会を六本松のもつ鍋「月川」で開催しました。

この店での会合も3回目。皆さんになかなか好評で、恒例となりつつあります。数多の博多もつ鍋店でも知る人ぞ知る店。小生の聞く限り、既に40年ほど営業しているようで、予約客だけに供するメニューは、「もつ鍋」のみ。湯通しした牛もつと少な目の薄味スープに、たっぷりのきゃべつ、にんにくを加えて煮込む独特のものです。

飲み物は、座敷備え付けの冷蔵庫から自ら取り出すシステムで、ビール、酒、焼酎に加えて小林・山下幹事提供の球磨焼酎「鳥飼」をしたたか痛飲し、新宿界隈の昔話や時勢の話や近況報告やらで3時間。豊田幹事提供の、美味しいチョコレートをお土産に、今年の新年会もお開きとなりました。

今回の参加者は、石井会長他幹事全員7名に田上氏、森氏、佐藤氏、寺田氏、そして大分から成瀬氏となかなかの盛会でした。平均年齢65歳超え(?)の12名が、3〜4人前鍋を12鍋(ー)と、メの定番チャンポン麺までを完食の健啖ぶり。今年も、皆さんの益々のご健康を確信しました。

石井会長、豊田幹事、寺田氏は、ご帰還。残る9名は、これも恒例となった感のある森氏のお店中州「ゴザック」へと流れました。森氏ご好意の朝陽特別料金の二次会は、カラオケも備わり早大グリークラブOB成瀬氏を中心に、さらなる盛り上がりの夜でした。

今年の総会も、10月に開催します。また、三月末頃、昨年同様「花見の宴」を催す予定です。お一人でも多くの会員の参加を、お待ちしております。

## 【幹事長記】

## 【発行元】

九州朝陽会事務局  
〒811-3221  
福津市若木台1-20-7  
TEL & FAX: 0940-43-5545

## 【事務局長】

小泉純理(7回)  
E-Mail [kjun612@nifty.com](mailto:kjun612@nifty.com)

## 【編者】

山下美智恵(29回)

# あまりに軽いノーベル賞

(株)中陽 副会長

豊田 信夫(7回)

世界が驚いたオバマ大統領のノーベル平和賞受賞のニュース。「驚き」には、時期尚早、現職大統領が実績を伴わない称賛を浴びるべきでないとの気持ちが入り込められているだろう。物理学賞、化学賞、医学賞等に「なぜ受賞？」という疑問符が付かないのは、成果が形に現れ客観的に判断出来るからである。平和賞、文学賞等は主観的に判断され、客観性がないため、たいがい評価が分かれてしまう。

二〇〇九年の平和賞の選考過程ではノルウエーのノーベル賞委員会の委員5人の内3人がオバマ氏の授与に異議を唱えていた。氏が就任からの9カ月間、十分な実績を残したか否か議論の余地があるからという。委員長の説得で3人は最終的に賛成に回ったという。ノーベル賞選考の舞台裏は案外いい加減なものだなあという感じを持った。過去のノーベル平和賞受賞者を振り返っても、不思議に各国の政治のトップが名を連れ受賞後に問題が発生することが多く、諸手を挙げて賛成とは言えない人が居る。

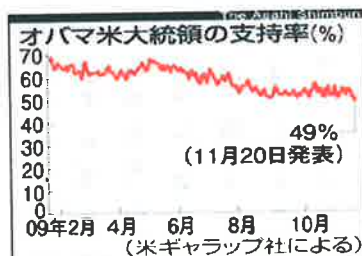
一九〇六年のルーズベルト米大統領、一九七一年の西ドイツのブラント首相、一九九〇年のソ連のゴルバチョフ大統領、一九九四年のPLOのアラファト議長、二〇〇一年の国連のアナン事務総長、二〇〇二年のカーター元米大統領そして一九七四年の日本の佐藤栄作首相が居る。佐藤栄作は非核三原則の提唱で首相退任2年後に受賞したが、「核を作らず、持たず、持ち込まない」の「持ち込まない」三原則が、日米の密約で骨抜きになっていたのは周知の事実である。しかし、これら過去の受賞者に比べても、オバマ大統領の受賞ほど、異論が噴出した例はない。

発端は、二〇〇九年四月五日、ブラハで行った核兵器廃絶演説が評価されたの授与だが、言うは易しく行うは難いのが核廃絶である。

また、現在進行中のオバマ大統領の政治的取組を「後押しする」ための授与という論理もあるが、これも説得力に乏しいだろう。例えばオバマ大統領が、朝鮮半島の非核化とか、日本人拉致問題の解決とか、イスラエルとパレスチナの紛争かアフガン戦争の終結とか、イランに核兵器を放棄させたとか、どれか一つでもその実現に寄与したの

であれば、ノーベル賞のメダルと\*巨額の小切手を貰う価値があるだろう。

ノーベル賞の授与の告知を受けた時、オバマ大統領は身の程をわきまえて謙虚に振舞った方が良かった。ただでさえオバマ人気は下降気味の中、オバマ大統領がノーベル平和賞を辞退する勇気と見識の持ち主であったなら、オバマ評価は又一段持ち直したであろう。



\*巨額の\*小切手:  
オバマ氏は、賞金を慈善団体に寄付すると発表しました。寄贈先の慈善団体が決定されたという報道は、現時点で編者未確認です。

09・12・10

## 会員の著書紹介

大羽 宏一(13回)編

『消費者庁誕生で 企業対応はこう変わる』  
日本経済新聞出版社

「産業振興重視から消費者・生活者の視点へ」行政の転換期に誕生した「消費者庁」と「消費者安全法」とは？ 企業の対応は？ 従来の消費者行政のすき間で、「こんにやくゼリー」や「ハロマ」などの事故は繰返された。その縦割り

行政の問題点や、リコールの仕組みを押さえておくための一冊としても一読を。

**消費者庁誕生で 企業対応はこう変わる**

大羽 宏一

消費者庁の誕生で、企業対応は大きく変わる。新しい仕組みと既存省庁との関係を総合的に解説。

### 事務局からのお知らせ

#### ○ 会員動静

\*70名(2月28日時点)  
名誉会員1名、地域外会員2名  
九州地域会員は67名。

\*謹んでご冥福をお祈りいたします。  
筒井 嵩氏(3回/鹿児島)が、平成21年9月29日ご逝去されました。

#### ○ 年会費納付について

\*21年度会費につきまして、未納の方は、同封の振替用紙でご納付ください。ATMをご利用くださると、差引かれる振替料金が安くなり、会費節約になります。ご協力ください。

#### ○ 会報

\*会報発行は3, 7, 11月の年3回で、締切りは、各々1, 5, 9月中旬です。皆さまの土地自慢、友人・恩師・高校時代の思い出や趣味など「4百~1千字の原稿と、あれば挿絵か写真」を、事務局までお寄せください。

\*佐藤先生の連載「《新宿》の思ひ出」も依頼中です。次回をお楽しみに。